

鏡中学校だより  
協端鍛錬領  
勵正鍊

# 鏡の如く

令和6年7月17日  
第6号  
八代市立鏡中学校  
校長 馬淵隆幸

## SNSから子供を守るために

早いもので、1学期も残りわずかとなりました。子どもたちの様子を振り返ってみると、授業の受け方を始め、各学年が大きく成長した1学期であったと思います。トラブルもありましたが、優しい行いも沢山見ることができました。各ご家庭での子どもたちへのご指導に改めて感謝いたします。

さて、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。しかし、この期間世の中で起こっていることに目を向けると、楽しいことばかりではありません。中でも後を絶たないのが、SNSによるトラブルです。ひどいものになると、犯罪に巻き込まれ、命を奪われる事案もあります。少し前の話にはなりますが、昨年、有名飲食店での少年のいたずらが発覚し、大きな問題となりました。器物破損、偽計業務妨害等に当たるとして書類送検され、多額の損害賠償を請求されることになりました。ただ、怖いのはこの後で、SNSにより加害少年の個人情報が特定され、あっという間にネット上で拡散。その後自主退学へ。今後、ネット上に拡散された情報は永久に残り、その少年が就職や結婚をする頃になると蒸し返され、何度も注目を浴びることになることが予想されます。SNSの怖さを改めて実感した事件でした。

下は、ある親が、初めて我が子にスマートフォンを持たせたときに、子どもと交わした約束です。世界とつながる情報末端を持たせるには、持たせる側にもそれ相応の覚悟が必要だと気づかれます。

お子さんが楽しい夏休みを過ごせるよう、参考にしていただければ幸いです。

親愛なるグレゴリーへ

以下の規則を守ることができなかった場合、あなたのiPhone所有権も無くなります。

①これは私の携帯です。私が買いました。あなたに貸しているものです。私ってやさしいでしょ？

②パスワードはかならず私に報告すること。

③これは「電話」です、鳴ったら必ず出ること。礼儀良く「こんにちは」と言いなさい。発信者が「ママ」か「パパ」だったら必ず出ること。絶対に。

④学校がある日は7:30pmに携帯を私に返却します。週末は9:00pmに返却します。携帯は次の朝の7:30amまで電源オフになります。友達の親が直接出る固定電話に電話出来ないような相手ならその人には電話もSNSもしないこと。あなたも、友達だけでなくその家族も大切にできるような人になって。

⑤iPhoneはあなたと一緒に学校には行けません。SNSをする子とは直接お話し下さい。人生のスキルです。

⑥万が一トイレや床に落としたり、無くしたり、破損させた場合の修理費用は自己負担です。

家の芝生を刈ったり、ベビーシッターをしたり、お年玉でカバーしてください。こういうことは起こります、準備してくださいください。

⑦このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしないこと。人を傷つけるような会話に参加しないこと。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。

⑧人に面と向かって言えないようなことを、SNSやメールに書き込まないこと。

⑨ポルノ禁止。私とシェアできるような情報をウェブで検索してください。

⑩公共の場では消すなり、サイレントモードにすること。特にレストラン、映画館や他の人間と話す時はそうしてください。あなたは失礼なことをしない子です、iPhoneがそれを変えてはいけません。

⑪他の人にあなたの大事な所の写真を送ったり、貰ったりしてはいけません。とても危険なことだし、あなたの青春時代を壊してしまう可能性だってあるのよ。出てしまったデータは永久にネット上や誰かの手元に残り、あなたの暮らしを脅かし続ける。インターネットは私たちより巨大ではるかに強いことを忘れないで。

⑫写真やビデオを必要以上に撮らないこと。経験を肌身で感じ、あなたの記憶に収録してください。

⑬ときどき家に携帯を置いて出かけてください。そしてその選択に自信を持ってください。携帯は生きものじゃないし、あなたの一部でもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。流行に流されない、FOMO(自分だけが取り残されていると思ってしまう不安感)を気にしない器の人になってください。

⑭上を向いて歩いてください。あなたの周りの世界を良く見てください。窓から外をのぞいてください。鳥の鳴き声を聞いてください。知らない人と会話をもってみてください。グーグル検索なしで考えてみてください。

⑮あなたは失敗する。そのときはこの携帯をあなたから奪います。その失敗について私と話し合います。また1からスタートします。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出していきましょう。

この条件を合意してくれることを願っているよ。ここにリストしてあるほとんどの条件は人生をうまく生きるためにの条件にも当てはまるものだから。



パパとママより